

2018年1月19日（金）

福岡市南区柏原3丁目における取組 （地域公共交通優良団体国土交通大臣表彰受賞）



福岡市南区柏原三丁目町内会 会長 大淵 浩一

西日本鉄道株式会社 自動車事業本部営業部 南営業課 課長 洲脇 祐子

福岡市住宅都市局 都市計画部 交通計画課 課長 竹下 和宏

●福岡市のプロフィール

人口^{※1} **1,570,126人**
(男性:74万人,女性:83万人)

世帯数^{※1} **794,703世帯**

高齢化率^{※2} **20.7%**

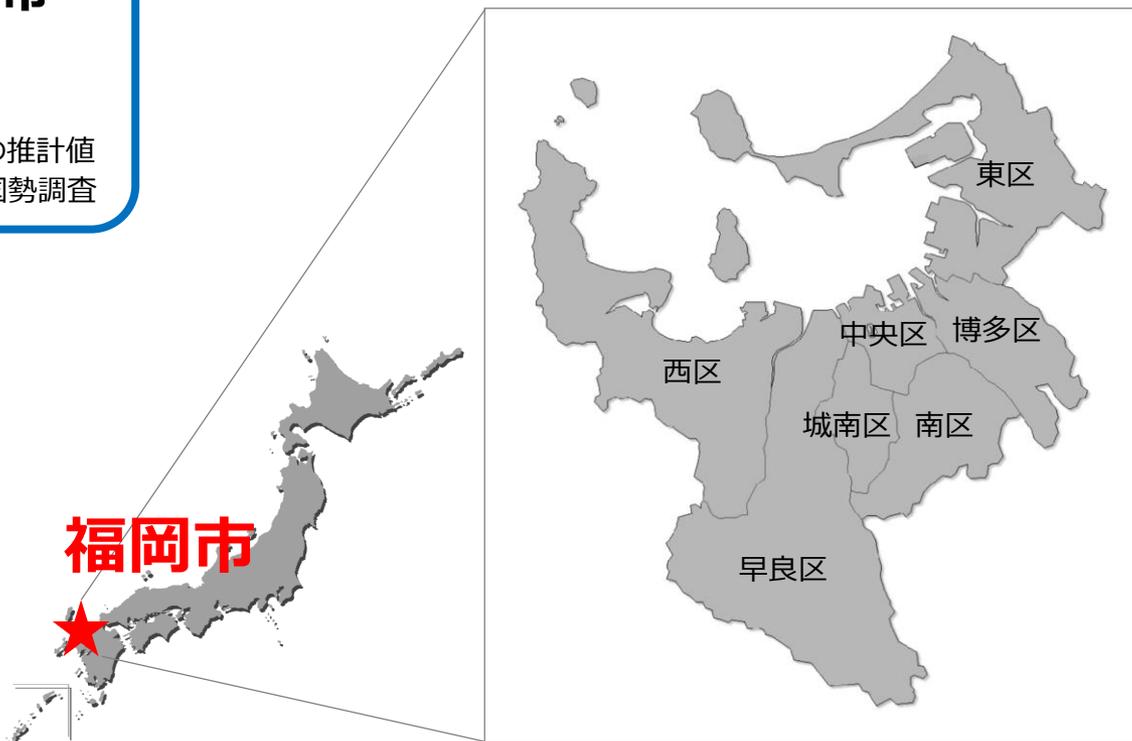
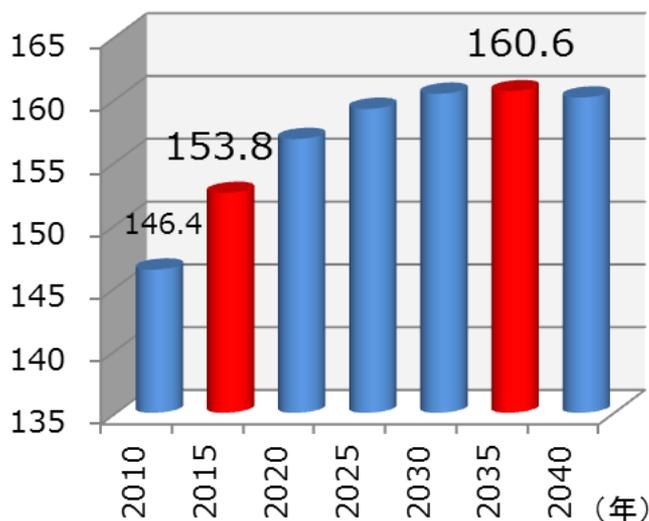
※1 平成29(2017)年12月1日の推計値

※2 平成27(2015)年10月1日国勢調査

面積 **343.39 km²**

※大阪市の約1.5倍

■福岡市の人口推計



福岡市の概況



JR博多駅



平成29年度市政に関する意識調査



資料：平成29年度市政に関する意識調査

モノクル 世界の住みやすい都市ランキング2016



福岡市の概況



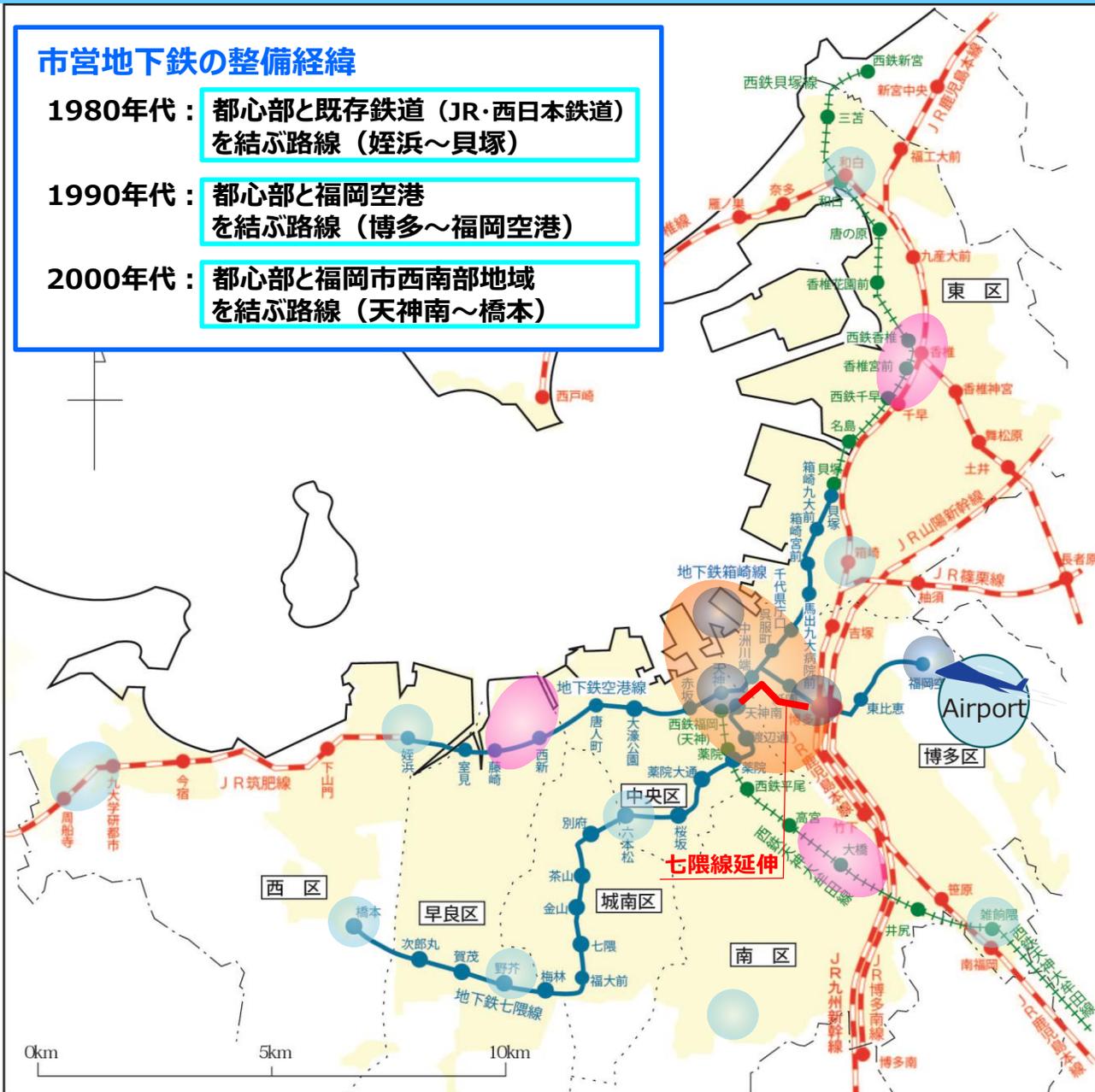
福岡市の概況(市内の鉄道)

市営地下鉄の整備経緯

1980年代：都心部と既存鉄道（JR・西日本鉄道）
を結ぶ路線（姪浜～貝塚）

1990年代：都心部と福岡空港
を結ぶ路線（博多～福岡空港）

2000年代：都心部と福岡市西南部地域
を結ぶ路線（天神南～橋本）



凡例

JR



民間

延長：55.3km, 駅数：23駅
乗客数：約 256,000 人/日

西日本鉄道



民間

延長：17.0km, 駅数：16駅
乗客数：約 160,000 人/日

市営地下鉄



公共

延長：29.8km, 駅数：35駅
乗客数：約 398,000 人/日



JR



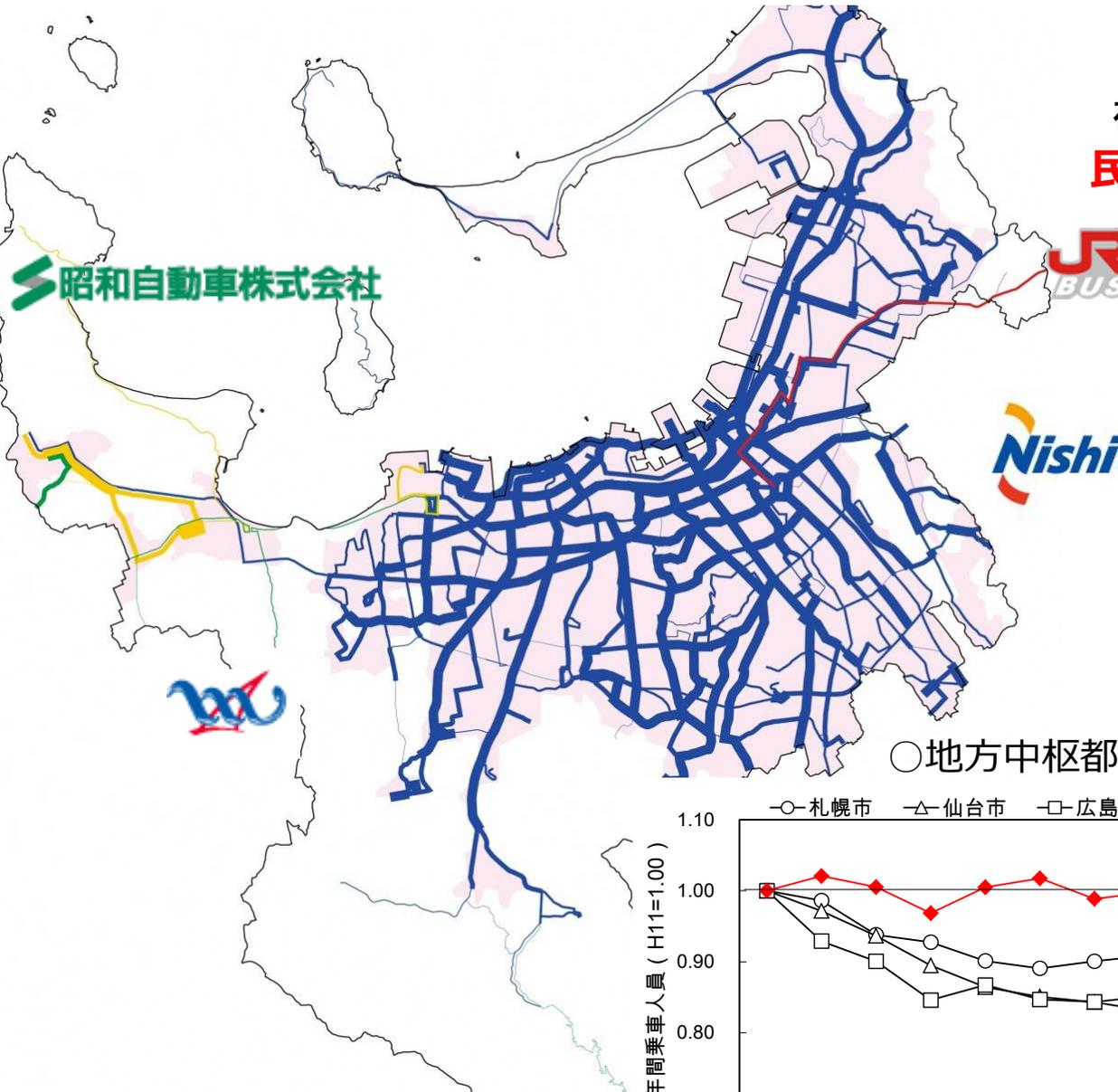
西日本鉄道



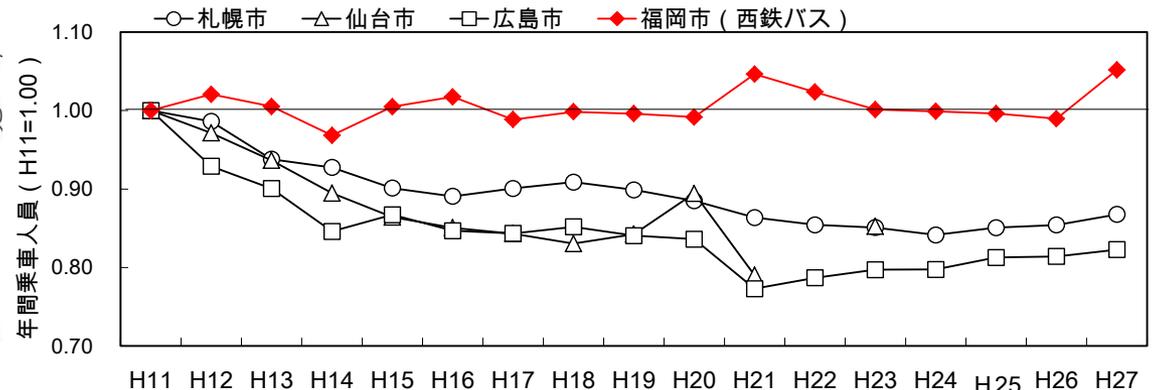
地下鉄

福岡市の概況(市内のバス)

福岡市内の**全ての**バス路線は
民間企業により運行されている



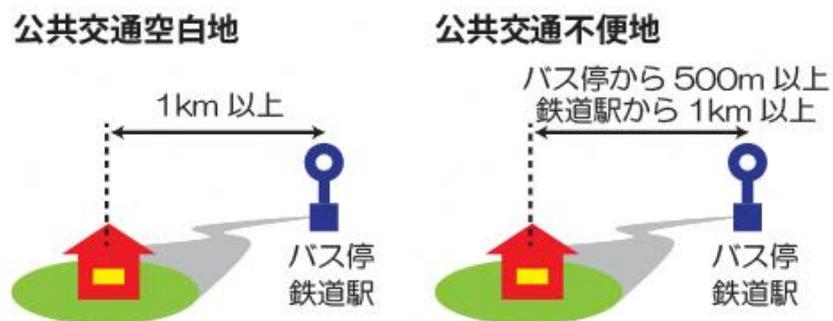
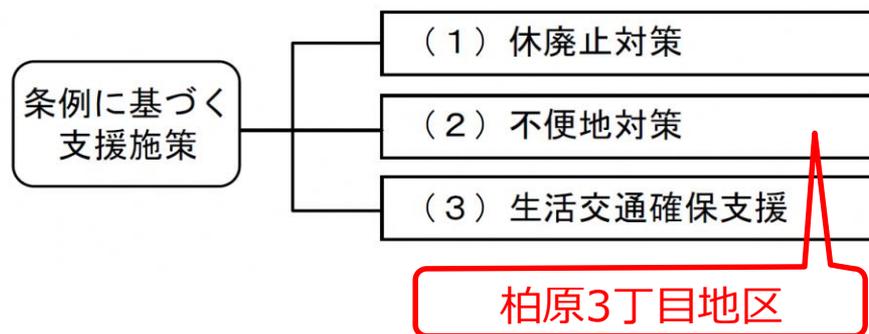
○地方中枢都市におけるバス乗車人員の推移



福岡市における生活交通の確保 (条例に基づく支援)

生活交通条例（議員条例）に基づく支援

- 「公共交通空白地等及び移動制約者に係る生活交通の確保に関する条例（平成22年12月施行）」に基づき、地域、交通事業者、行政と共働で、生活交通の確保に取り組んでいる。



(1) 休廃止対策

- ・バス路線の休廃止に伴い、公共交通空白地となる地域において、代替交通の運行経費に補助を行う。

(2) 不便地対策

- ・バス停・鉄道駅から一定の距離又は高低差のある地域などにおいて、地域主体の生活交通確保の取組みに対し、検討経費や交通事業者が実施する試行運行の経費に補助を行う。

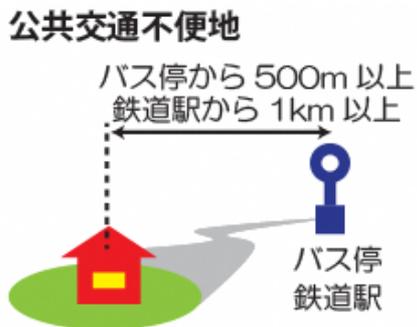
(3) 生活交通確保支援

- ・休廃止対策や不便地対策の対象以外の地域において、生活交通確保に向けた地域主体の取組みに対し、専門的なアドバイスなどの活動支援を行う。

不便地対策【福岡市地域主体の生活交通確保支援補助金交付要綱】

○支援の対象地域

公共交通が不便な地域として、バス停・鉄道駅から一定の距離又は高低差のある地域に加え地域住民が生活交通の必要性を認識し協議会を組織している地域。



公共交通不便地に準ずる地域①



公共交通不便地に準ずる地域②



○検討経費の補助

補助金額：年間50万円を限度
補助期間：3年（最長5年）

○試行運行経費の補助

- ・収支差額の補助
 - ・経費の1/2と300万円のいずれか少ない額を限度
- 補助期間：6ヶ月（最長1年）

柏原3丁目も検討経費、試
行運行経費補助を活用
(市内第1号)

事業者の紹介

まちに、夢を描こう。



□ 会社概要

● 基本情報

社名	西日本鉄道株式会社 (Nishi - Nippon Railroad Co., Ltd.)
設立年月日	明治41年12月17日
創立年月日	昭和17年9月22日
本社	福岡市中央区天神一丁目11番17号
事業内容	鉄道および自動車による運送事業、 海上運送事業、利用運送事業、 航空運送代理店業、通関業、 不動産の売買および賃貸業、 ホテル事業、遊園地・植物園等の経営、 その他
営業収益(連結)	358,273百万円(平成28年度)
グループ会社	83社1学校法人(西日本鉄道(株)含む)

今年
110周年



□ 会社概要



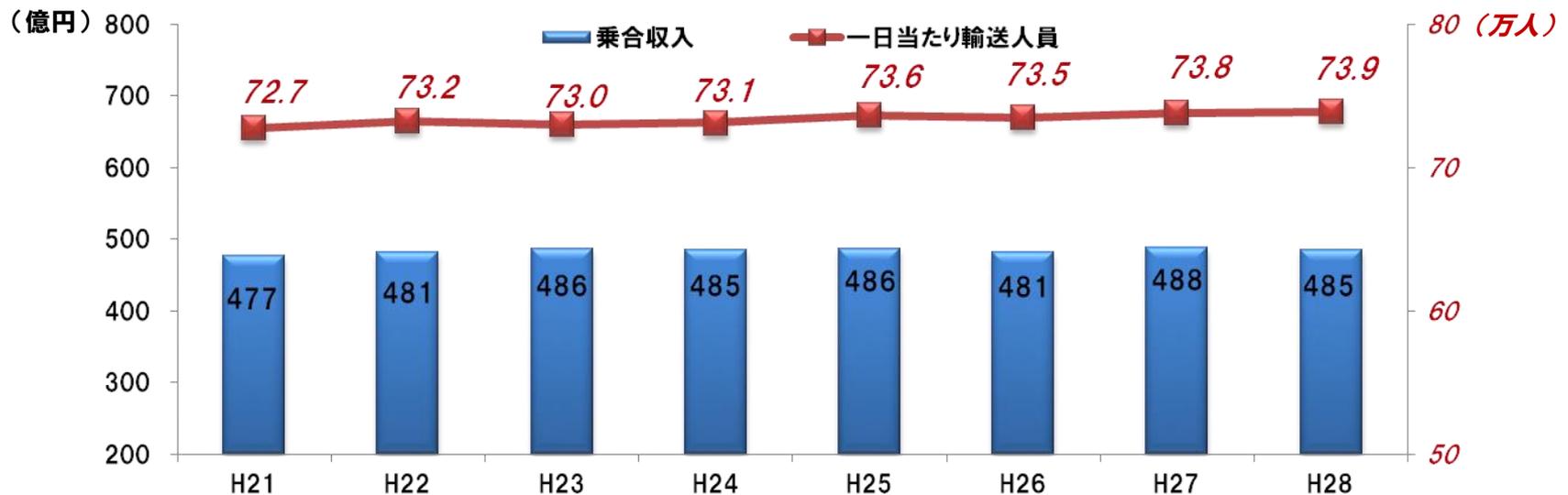
● 乗合バス事業の概要

【平成29年3月時点】

	車両数(台)	輸送人員(万人)	運送収入(百万円)	実車走行キロ(万キロ)
西 鉄	1,813	18,904	33,715	9,080
グループ会社	982	8,056	14,843	5,219
西鉄バスグループ合計	2,795	26,961	48,559	14,299

日本一

□ 西鉄バスグループ年間運送収入と一日あたりの輸送人員の推移



□ 取組概要

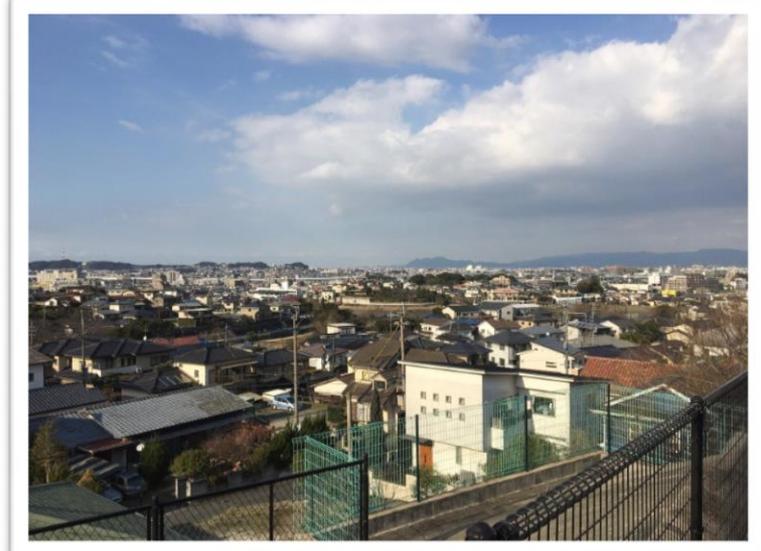
福岡市南区柏原3丁目の住民の発意により、生活交通確保に向けた検討を開始。

持続可能な公共交通を目指し、「地域住民」「バス事業者」「行政」の三者が一体となって課題の解決に取り組んだ結果、H26年4月に試行運行、H27年4月に本格運行を実現した。

柏原三丁目の紹介



□ 柏原三丁目概要



S45 小高い山を造成し、住宅団地として建設
(47年経過)

35歳前後で入居した住民も今や80歳！

標高50mの高台での買い物や通院は困難を極め、コミュニティ交通の必要性を痛感

コミュニティ交通検討の 経緯



□コミュニティ交通検討の経緯

①

- 平成13年ごろ 柏原三丁目地区において、「町内バス」運行の検討を開始
- 平成19年8月 福岡市に対して、バス運行に関する陳情
※同時期に西鉄に対しても要望を行なう
- 平成22年3月 福岡市「公共交通空白地等及び移動制約者に係る生活交通の確保に関する条例」制定。
- 平成24年 柏原校区自治協議会が主体となり「校区コミュニティカー検討委員会」設立
- 平成24年10月 青パト利用やジャンボタクシーなどいくつかの選択肢の中から、「西鉄バス乗り入れ」で意見集約。

□コミュニティ交通検討の経緯 ②

- 平成24年12月 地域住民によるアンケート調査実施
⇒72%の住人が「利用する」と回答。
- 平成25年7月 住民意見交換会開催
住民同士の合意形成を図った。
- 平成25年9月 地区内バス運行試験（2回実施）
（西鉄、福岡市、南警察署、校区自治協議会）
※実際にバスを走らせてみると
様々な課題が発覚した。
⇒ 翌年4月の試験運行開始を目指して
関係各所が課題解決にあたることで合意。
⇒ 福岡市の補助金も様々な活用。

運行開始にむけて



□ 乗り入れまでの課題解決

1. 道路改良

- ◎ 停止線改良(古野交差点、日時計の丘前)
- ◎ 路側帯の設置、電柱移設
- ◎ 道路わきの水路の蓋かけ・水路フェンスの改良
- ◎ 車歩道縁石の改良
- ◎ 道路の舗装
- ◎ カーブミラーの設置

→ 地域、行政、警察の協力を得て改良

□乗り入れまでの課題解決



「駐車禁止看板の設置」
(地域)



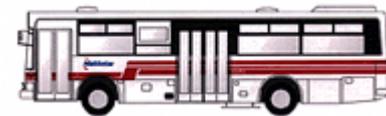
カーブミラーの設置
(行政)

□乗り入れまでの課題解決

2. 最適な運行計画

◎採算性の確保（事業者）

- ・回送バスの営業化
- ・地域要望を反映したバス停新設



採算性を考慮した運行ルート



営業所間の回送ルートを営業化するとともに、柏原3丁目に乗り入れた。
運行ルート: 柏原営業所～柏原3丁目～桧原営業所

□ 乗り入れの様子



狭くて大変です・・・(涙)

H26年4月1日
念願叶って
試行運行開始！！

したものの・・・

乗車人員推移（H26年4月～7月）

● 平日 1日あたり利用者推移（人）



乗降人員 目標未達

□利用促進策(地域の取組み)

◎ バス通信の発行

会長、副会長が作成を手掛け、バス路線の維持を「自分ゴト」に感じてもらうようと、発行を続けた。

柏原三丁目バス通信 No.3 柏原3丁目町内会
平成26年11月27日 会長 大淵 浩一

バス試行運行に関するアンケート結果

実施期間 8月27日～9月7日、回答票数 265/366 回答率 72%

問1. 試行運行バスを利用したことがあるか。 52.2%

問2. 運行して良かった点は。 バス停が近くなった

問3. 運行して良かった点は。 バス停が近くなった

問4. 利用しない理由、利用回数が増えない理由は。(上位3つ)

他の交通手段の方が便利だから
外出したい時間帯の便がない
他のバスの乗り継ぎが不便

*一部抜粋、詳細は別紙します。

早いもので師走を迎えようとしています。試行運行も9か月目に入り毎週末に西鉄から送られる乗車実績は、4月当初よりも大幅に伸びています。これも利用される皆さんのご協力のおかげです。

アンケートの自由記述欄には、増え、バスの小型化、都心部への直行便、乗り継ぎのためのダイヤ調整、巡回ルートの変更、日祝日の運行等要望が出ていました。

要望が多い南公園下までの巡回ルートがベストだと思います。今回の試行運行は柏原営業所から柏原営業所に回している一部を柏原三丁目経由にしたものです。そのため大型バスとなっています。外回りコースは本格運行との課題です。

柏原三丁目バス通信 No.3

【平均】平日 55.9人
土曜 19.4人

新三浦酒店、集合・解散の柏原3丁目シニアクラブ柏原会日帰りツアー
参加者は44名で、清水寺(湖高町)⇒花むら(佐賀県小城市)⇒佐賀城本丸歴史館(佐賀市)に行ってきました。紅葉と美味しいランチ、そして佐賀の歴史に触れることのできた楽しい一日でした。3丁目内のバス停は朝8時前、そして4時頃は参加者がいっぱいでした。

バスに乗って土谷さん宅のイルミネーション見学へ!!
(北公署バス停を降りて東方向、1つ目角を右折7軒目4組)

去年よりバージョンアップされているそうです。

「見に来たと、ピンポイントで……」

もっとバスの利用を!

1日1世帯1回の利用が本格運行へつながる

マイカーのない私たちは、今までは行きは歩き、帰りはタクシーが多かったが、バス導入後、行きも帰りも同時に合わせてバスを利用している。タクシー利用も減るが、以前に比べ非常に助かっている。 9組 魚頭さん

柏原公民館のダンス競技サークルの往復に利用している。37日からは17名のメンバーが毎週利用。本格運行になることを切に望む。 10組 末次さん

行きは北公署7時50分の柏原行きに乗り、帰りは柏原営業所18時50分頃の柏原行きを利用している。最近距離を確か、坂道を行き来することが辛くなっていったので大変助かっている。

今まで気がなかった、バスの中からの沿線の風景や気配がよくなると、気分が一新している。また、乗り合わせた方との距離も徐々に狭まっていくようになった。乗車される方が少ないので、たまたまの方々に利用していただくとともに知り合いが増えると思う。バスの運行をもう少し増やしていただけないか。 1組 永松さん

運動のため毎日柏原営業所から柏原三丁目を利用している。より駅なので重い荷物や天気の悪いときは助かっている。できるなら17時台のバスがあると尚一層ありがたい。 16組 西村さん

ボラバス、水の花ガールズ、マルシェ、病院などに使っています。バスの中が3丁目の方々の知り合いの場になります。バスがなくなると困ります。 14組 東さん

柏原営業所で乗り換えて毎日小宮方面へ通勤。nimocaカードで乗り継ぎ割引が利用できて経済的。帰りはバスを降りてから下り坂でもとま。北公署⇒柏原三丁目の車庫よりの橋原市内の換気がすばらしい。 柏原2丁目2区小川さん

会社の帰りにバスに乗っている。夜道は暗くて怖かったがバスに乗れば安心して帰ることができる。 8組 藤井さん

三丁目の皆さん、本格運行には今まで一度も利用されていない方々の乗車がキポイントです。

高齢化がすすみ、車を手離す人も増えてくるなか、住民の足としてのバスの利便性が一層高まってきています。試行運行のままで乗り入れが中止になれば3丁目内へバスが入ってくることは当分の間ありえません。

今までバスを利用されている方は引き続きご利用を、利用されたことなかった方は少なくとも一度は三丁目内のバス乗車体験を味わってみてください。

平成26年8月27日 柏原三丁目町内会 会長 大淵 浩一

◎ 公民館行事など、イベントのスケジュールを、行き・帰りにバスを利用できる時間に変更。

◎ 緊急決起大会の開催

◎ バス友の活動(詳細後述)

□利用促進策(西鉄・市の取組み)

- ◎ バス利用促進チラシを南主管営業所(当時)のスタッフが、全戸にポスティング (計5回)
- ◎ 全戸アンケートの実施
- ◎ 柏原三丁目住民を対象としたバスの日イベント

□乗車人員推移（H26年4月～11月）

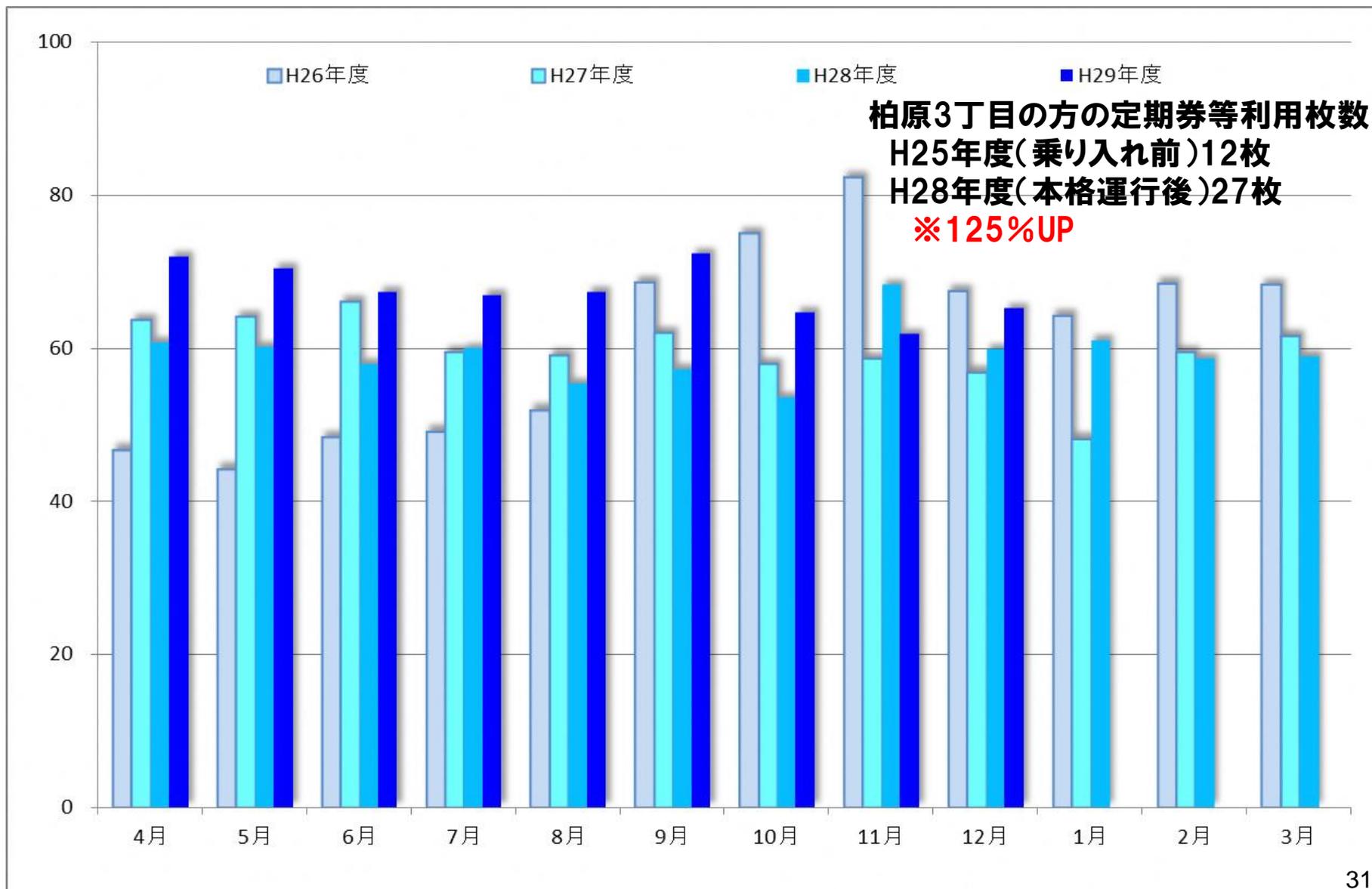


●平日 1日あたり利用者推移（人）

□ 本格運行決定！（H27.4.1）



乗車人員推移（H26.4月～現在）



なぜ成功したのか？



□ 本格運行に至ったポイント



共通の理解のもと、それぞれが汗をかき、相手に過度に依存することなく、できることに懸命に取り組んだ

お互いが顔の見える付き合いをすることで、地域住民の「最適な運行計画」に対する理解が進み、事業者と地域住民の距離も近くなった。

□ 思わぬ副産物“バス友”

最初は乗降客数を増やすための取り組みだったが…

1. これまで挨拶したこともなかった人と、知り合いになり、毎朝挨拶するようになった。
2. バス停まで毎朝歩くので、足腰が強くなるなど健康になった。
3. 日々、お互いの確認・声かけをするようになった。



地域の足(公共交通)を守ろうという情熱が、まちづくり・コミュニティ形成にも波及した。

本来のコミュニティバス 《コミュニケーションバス!》

バス友の皆さま



現在



□ 持続可能なバス路線にするために

◎ 三者で問題意識を共有し続ける。

(地域・事業者・自治体)

⇒ 現在も三者で定期的な懇談会の実施

◎ 収益の確保。

(利用者数増・運営効率化)

⇒ 地 域: バスの時刻に合わせた公民館行事

事業者: 地域とのコミュニケーション活動

◎ 実現可能な方法で、利便性向上を図る。

⇒ 運行時刻、便数、運行ルート

※ 都心部への乗り継ぎ時刻の改善



バスの日イベント
(H28.9.27)



町内会総会に
出席
(歌って踊って♪)



柏原校区の
シンボルマークを
LEDに表示
(H28.10.1~)

コミュニケーション 活動を 継続しながら 利用者増に 取り組んでいます



楽しいバス停、乗車のしかけづくり
(装飾、情報発信)



運転士も一緒にポスティング

ご清聴有難うございました。



(平成29年7月12日 地域公共交通優良団体国土交通大臣表彰 表彰式)